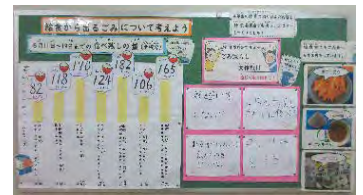


【様式1】

① 食育月間の取組

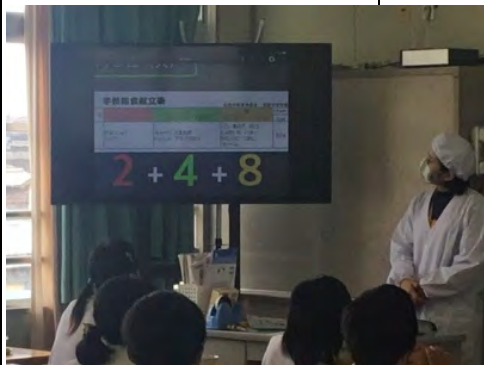
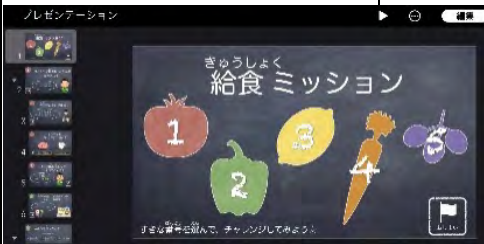
提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	四日市市立常磐西小学校
取組の名称	「給食から出るごみについて考えよう」 (総合的な学習の時間)
実施時期	令和2年6月24日(水) 25日(木)
取組内容	<p>1. 対象者:第4学年(148名)および全校(849名)、指導者:担任・栄養教諭、場所:教室</p> <p>2. 指導のねらい(食育の視点)</p> <p>環境や資源に配慮した食生活を実践しようとする態度をもつ。〈社会性〉</p> <p>3. 指導の流れ</p> <p>社会科の学習に関連し、総合的な学習の時間で生活の中で出てくるごみについて考え、給食から出るごみについて栄養教諭から話を聞くという流れで指導しました。</p> <p>学級担任がこれまでの学習の振り返りを行った後、栄養教諭が給食から出るごみについて動画やグラフを用いて紹介し、特に残飯が多いことを伝えました。量を実感させるために、ごはん茶碗何杯分に値するか示し、4年生が残した残飯と同じ重さの物を袋に入れて持ち上げさせました。また、給食室では、ごみを減らすために食材を無駄なく使う工夫していること、リサイクルに取り組んでいることを伝え、給食で出るごみを減らすために自分たちにできることを考えさせると、「茶碗にご飯粒を残さないようにする」「早く準備して食べる時間を確保する」「好き嫌いしない」などの意見が出ました。</p> <p>授業後、4年生の授業内容を紹介する「食育だより」を全校に配付し、他学年や家庭への啓発を図るとともに、食育だよりをもとに、給食委員会でも給食から出るごみについて考え、ポスターを作成して掲示板に掲示して全校や保護者への啓発を図りました。</p> <p>4. 取組の成果</p> <p>授業後の感想では、「給食室でも工夫してごみを減らしているから、教室でもごみを減らしたい。」「家でも煮干し粉を使ってみたい。」「家では、にんじんの皮をむいているのをよく見るので、今日の話の家でもしたい。」と学校生活や家庭生活の中で実践しようとする態度が見られました。また、給食時には、食器についたごはん粒をきれいに食べる様子が見られるなど意識の変化が見られました。引き続き、総合的な学習や日々の学級活動の中で声かけを行い、定着化を図っていきたいです。</p>



【様式1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	松阪市立松江小学校
取組の名称	「給食ミッション」に挑戦 ～iPad (Keynote アプリ) を活用した給食時間における食に関する指導～
実施時期	令和2年6月8日(月)～13日(金)
取組内容	<p>現在新型コロナウイルス感染症対策として、喫食している間(マスクをしていないとき)はしゃべらないという給食指導を行っています。そのため、普段のように栄養教諭が教室を訪れ、児童と対話しながら行う食に関する指導は難しいと考えました。</p> <p>そこで市内への導入が進んでいるiPadを使い、児童がしゃべらずに考えながら給食を食べられる内容を考え、Keynoteというアプリで教材を作成しました。</p> <p>内容は次の5種類を用意し、当日児童(または担任)が選べるようにしました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① かむこと(ひとくち何回かんでいるかな) ② 今日の給食に使われている食材の種類(いくつあるかな) ③ 舌のはたらき(給食を食べながら舌の動きに注目しよう) ④ 箸づかいのマナー(つついちゃってしまうマナーはないかな) ⑤ 今日の味つけ(今日の料理に使われている調味料はどれかな)



事前に担任用のiPadにデータを移し、すべての教室で担任が使えるようにしました。配膳前の手指消毒や給食の配膳等で、普段よりも準備に時間がかかってしまうこともあります。それぞれの担任が使いやすい時間に、児童に合わせた指導を行うことができました。

- 担任からは
- ・毎日の給食に合わせた内容を知ることができてよかった。
 - ・話さずに食べなければならない状況なので、静かに画面を見ることができ、食育にもなってとてもよいと思いました。
 - ・子どもたちは毎日楽しみにしていました。
- などの感想がありました。

コロナ禍ではありますが、引き続き工夫しながら、食に関する指導を行っていきたいと考えています。

【様式1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県	
取組市町村名 取組団体・企業名	名張市立桔梗が丘小学校	
取組の名称	地元名張にちなんだ献立の実施、給食に関わる人の紹介 など	
実施時期	令和2年6月19日 地元名張にちなんだ献立の実施 6月～7月 給食に関わる人の紹介	
取組内容	<p>食育の日の献立実施</p> <p>6月19日に、地元名張にちなんだ献立に、地元産の食材を使ったメニューを給食に提供し、そのことを給食だよりや、給食委員が給食時の放送で全校児童に知らせました。</p> <p><u>麦ご飯・牛乳・豆腐田楽・きゅうりのごま酢和え・名張の牛汁</u> でした。</p>  <p>給食に関わる人の紹介（掲示物の作成）</p> <p>給食に関わる人たちを紹介する掲示物を作り、それぞれの方がどのように給食に携わっているか、仕事内容を紹介し、たくさんの人たちのいろいろな仕事のおかげで給食が作られていることを知り、給食や、給食に関わる人たちへの感謝の気持ちを持つ機会になりました。</p> <p>掲示物作成にあたり、委託業者の調理員さんや納入業者さんも、児童の給食への興味や関心を深めるため、写真掲載を快く引き受けていただきました。</p> <p>掲示物で、普段は知ることのない給食に関わる人たちと、子どもたちをつなぐよいきっかけになりました。</p>   <p style="text-align: center;">調理員さんや納入業者、給食委員の紹介</p> <p style="text-align: center;">校長先生の検食の仕事の紹介</p>	